

かけはし

YAME GENERAL HOSPITAL Public Relations Magazine

2019 AUTUMN

かけはし 秋号

- 歯科口腔外科
外来診療開始のお知らせ
- 2019 年度 新人看護師研修
- 看護部からのお知らせ
職員募集のお知らせ
- 病院機能評価認定について
院外処方についてのお知らせ
- きっずセミナー開催
医療連携懇親会開催
- 減塩レシピ「高野豆腐の肉巻き照焼き風」
インフルエンザについて
- 情報案内板設置のお知らせ
診療支援課からのお知らせ
- 相談窓口のご案内
「ご意見箱」設置のご案内
- 外来診療担当一覧



交通アクセス



堀川バス 福島又は公立病院前下車
西鉄バス 西鉄福島下車



JR 羽犬塚駅下車
堀川バス (25 分) 又はタクシー (15 分)
新幹線筑後船小屋駅下車
タクシー (20 分)



九州自動車道 八女 IC
車 10 分 (外来駐車場完備)



地域がん診療連携拠点病院 地域医療支援病院

公立八女総合病院
Yame General Hospital

〒834-0034 福岡県八女市高塚 540-2 TEL.0943-23-4131
<http://www.hosp-yame.jp/hospital/>

歯科口腔外科 外来診療開始のお知らせ

公立八女総合病院では、2018年6月に歯科口腔外科を新設いたしました。これまでは入院患者さんの口腔ケアや応急処置を中心に行ってまいりましたが、この度病院地下1階に新しく口腔外科診療室を整備し、2019年10月より外来診療を開始いたします。

当科は八女筑後地区唯一の口腔外科専門医在籍機関です。顎顔面の炎症や外傷、薬剤関連顎骨壊死など、これまでは遠方の専門医療機関の受診が必要であった口腔外科疾患に対応が可能です。様々な患者さんに対応させていただけるように、歯科用コーンビームCT、半導体レーザー、超音波骨切削装置、インプラントガイドシステムなど、最新の医療機器を整備いたしました。また、日本顎関節学会 指導医による顎関節専門外来や日本補綴歯科学会専門医による義歯外来(顎義歯などの特殊義歯治療)も月に数回行います(完全予約制)。九州では実施施設の少ない顎関節手術にも対応いたします。お気軽にご相談ください。

当科は地域歯科診療支援病院です。受診の際は紹介状のご持参をお願いしております。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。



診療内容について

口腔外科疾患	顎顔面外傷(軟組織外傷・歯の脱臼・顎骨骨折)、炎症(歯性感染症)、顎関節症、顎骨嚢胞、口腔良性腫瘍、薬剤関連顎骨壊死
口腔内科疾患	口腔粘膜疾患、口腔乾燥症(シェーグレン症候群を含む) 抜歯(埋伏歯、残根、普通抜歯、便宜抜歯など) ※事前のご予約で初診当日の抜歯も可能ですが、 医科対診が必要な場合は後日の抜歯になります。
歯科インプラント	インプラント埋入、補綴、骨造成(サイナスリフト、GBR、ブロック骨移植) インプラントオーバーデンチャー ※CT画像診断、骨造成のみの対応も可能
周術期口腔機能管理	手術前後の口腔ケア、応急的歯科治療



診療のご案内

診療日	月・火・水・金曜終日、木曜午前 (木曜午後、土日は休診です。夜間休日の歯科当直体制はありません。)
診療時間	初診受付：8：30～11：00(初診受付時間外の急患はお電話でご相談ください) 再来受付：9：00～15：00(抜歯などの外科的治療は原則午後の予約になります)
お問合せ	0943-23-4131(お電話でのお問い合わせは14時以降にお願いします。)





スタッフ紹介 〈診療スタッフ：歯科医師 常勤 1 名、非常勤 3 名、歯科衛生士 3 名〉



常勤歯科医師

松村 香織 (九州大学 2005 年卒)

〈資 格〉

- ・ 歯学博士
- ・ 日本口腔外科学会認定医、専門医
- ・ 日本口腔ケア学会評議員
- ・ 日本有病者歯科医療学会認定医、専門医
- ・ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- ・ 日本小児口腔外科学会指導医
- ・ 日本抗加齢医学会専門医
- ・ 日本口腔科学会認定医



非常勤歯科医師

久保田 英朗 (顎関節外来)

- ・ 佐賀大学口腔外科臨床教授
- ・ 前神奈川歯科大学学長
- ・ 日本顎関節学会指導医 (前理事長)
- ・ 日本口腔外科学会指導医 など

荻野 洋一郎 (義歯外来)

- ・ 九州大学病院咬合補綴科准教授
- ・ 日本補綴歯科学会専門医、
- ・ 日本口腔インプラント学会専門医

竹崎 博嗣 (義歯外来)

- ・ 前九州大学病院全身管理歯科外来医長



薬剤関連顎骨壊死について 〈骨粗鬆症や癌の骨転移治療中の方は歯科検診を〉

近年、薬剤の副作用が原因であごの骨が壊死してしまう薬剤関連顎骨壊死が問題となっています。

顎骨壊死を引き起こす薬剤として、骨粗しょう症や癌の骨転移に用いられるビスフォスフォネート系製剤 (BP 製剤) や抗 RANKL 抗体などの骨吸収抑制剤、がん細胞の増殖を抑える血管新生阻害薬が挙げられます。

顎骨壊死を発症する機序は解明されていませんが、不適合な義歯による口腔粘膜の傷や、抜歯や歯科インプラント手術、歯周外科治療などの顎骨に対して侵襲性の治療が発症の契機になると指摘されています。

顎骨壊死の症状としては、歯肉腫脹・疼痛・排膿・歯の動揺・長期にわたる顎骨の露出などがあります。経過によっては口腔外からの排膿や顎骨骨折をきたすことがあり、QOL を著しく低下させます。顎骨壊死を一旦発症すると症状は進行性で極めて難治であり、今のところ有効な治療法は確立されていません。

海外の調査では、骨粗しょう症で BP 製剤を内服している患者さんの 1000 人中 1 ～ 3 人に、悪性腫瘍で BP 製剤の注射を受けている患者さんの 100 人中 7 ～ 9 人の方に抜歯後の顎骨壊死が生じたと報告されています。このように発症頻度は少ないですが、発症すると難治性であることから予防が非常に重要とされています。

薬剤関連顎骨壊死の治療は原則的に洗浄や抗菌薬投与、分離した腐骨の除去といった保存的な治療が中心ですが、重症例では顎骨の切除が必要となることがあり、いかに顎骨壊死を起こさないよう予防するかが重要です。

当科では骨吸収抑制薬使用予定の患者さんに対して、処方医との連携のもと、薬剤の投与を開始する前から徹底した口腔ケアおよび口腔外科手術を含めた歯科治療を行い顎骨壊死の予防に努めております。

また、顎骨壊死の発生率を増加させる危険因子として、悪性腫瘍の化学療法、ステロイド、糖尿病、喫煙、飲酒、口腔内の不衛生などが挙げられており、これらの十分な説明と患者教育の充実も図っております。

実際に顎骨壊死を発症した方の治療や、骨吸収抑制薬使用中の患者さんの抜歯や観血的歯科治療も行っています。ぜひご相談ください。





2019 年度 新人看護師研修の様子をご紹介します



公立八女総合病院では看護部主催による公開研修やイベントを行っています。
今年度上半期に行った「新人看護師対象研修会」風景の一部をご紹介します。

事例を用いて
清潔ケアの演習



救急蘇生演習



地域連携に関する事例の
グループワークの様子



新人看護師
研修上半期



心電図モニターの演習



輸液ポンプの演習

今後の新人看護師対象研修予定 (2019 年 11 月～2020 年 3 月)

開催日	時間	研修内容	講師・担当
11月 8日(金)	15:00～17:00	○災害看護 (災害時の看護師の役割)	災害支援看護師
12月10日(火)	15:00～17:00	○多重課題 (優先順位を考え患者対応を行う)	病棟主任 手術室看護師
1月18日(土)	13:30～15:30	○看護倫理 (事例を通して看護倫理について考える)	教育担当師長
2月15日(土)	13:30～15:30	○リスクマネジメント (事例を通してリスクマネジメントについて考える)	医療安全課長
3月13日(金)	15:00～17:00	○1年を振り返って (1年を振り返り看護観について考える)	教育担当師長



今後の新人看護師研修の
申込について、
まだ応募は可能です。

ホームページより申込みフォームをダウンロードしお申込みください。
電話での受付も可能です
〈0943-23-4131〉教育企画担当：杉野まで



看護部からのお知らせ

日本専門医機構認定共通講習会「公立八女総合病院 臨床倫理研修」を2019年10月31日(木)に開催いたします。昨年度に引き続き今年も石垣靖子先生を講師にお招きし、お話をうかがい学びを深めていきたいと思います。臨床倫理を共に学びませんか？

お申込み：公立八女総合病院（0943-23-4131）教育企画担当：杉野までお電話ください



日本専門医機構認定共通講習会
**公立八女総合病院
臨床倫理研修**
(内容の詳細は決定次第掲載致します)

日時：2019年10月31日(木)18:30～20:00
場所：おりなす八女 大ホール
講師：石垣 靖子先生(北海道医療大学名誉教授)
対象：公立八女総合病院企業団職員・近隣施設医療関係者
費用：無料 要申し込み

※日本専門医機構認定共通講習1単位が取得できます。 教育企画室：杉野

～職員募集のお知らせ～

公立八女総合病院では一緒に働いてくださる方を募集しています。(10月10日現在)

- | | |
|--------------|------------------|
| ●事務職員（常勤） | ●電気主任技術者（常勤） |
| ●診療放射線技師（常勤） | ●作業療法士（常勤） |
| ●臨床検査技師（常勤） | ●臨床検査技師 病理担当（常勤） |

※募集を締め切る場合もありますので

詳しくは【総務課 人事係（0943-23-4131）】までお問合せください。

病院機能評価認定について

当院は、日本医療機能評価機構による病院機能評価（書面審査及び訪問審査）を2018年12月に受審し、病院の質が一定の水準を満たしていると認定されました。

「病院機能評価」とは？

日本国民が安全で安心な医療を受けられるよう、病院組織全体の運営管理および提供される医療について日本医療機能評価機構という中立的、科学的、専門的な第三者機関が病院を評価する審査制度です。

病院の組織的活動について優れている点あるいは課題を明らかにすることで病院の質（診療・経営・患者サービスの質）改善活動を支援します。審査の結果、一定の水準を満たしていると認められた病院に対して認定証が発行されます。

日本医療機能評価
機構認定ロゴ→



病院の質向上に全職員一丸となって取り組んだ結果、病院機能評価で認められました。
これからもこれを励みにさらなる医療の質向上を目指し取り組んでいきます。



院外処方へ移行しました

令和元年6月1日より院外処方へ移行しました。

これまでは当院でお薬をお渡ししていましたが、外来受診の患者さまは原則として、院外の調剤薬局でのお薬のお受け取りをお願いします。

処方箋を受け取ってからお薬の受け取りまでの有効期間は4日間（日曜・祝日含む）です。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。





きつずセミナーを開催しました!

地域子どもたちに、病院でどんなお仕事をしているのかを知ってもらうため「きつずセミナー」を夏休み中の7月27日(土)と8月17日(土)に開催しました。

子どもたちは各グループに分かれ手術室、薬剤科、放射線診断科、臨床検査科、リハビリ室、ME室などを訪問し、職員の指導のもと楽しく職業体験をしました。



内視鏡操作体験



手術体験



血圧測定体験



手洗いでの
洗い残しがでないかチェック



リハビリ室体験

医療連携懇親会を開催しました!

令和元年7月23日(火)に、第7回目となる地域医療連携懇親会を開催しました。

今回は八女・筑後地域の56の医院や施設から100名の方々にご参加をいただきました。

ここ八女・筑後地域において患者様へ質の高い医療を提供するためには、各病医院がそれぞれの機能を活かしながらか連携を強化していく必要があるという趣旨のもとに、「顔の見える医療」をテーマに平成25年よりこの会を開催しています。

今後も地域の先生方と「顔の見える連携」をさらに推し進めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。





減塩レシピ紹介

高野豆腐の 肉巻き照焼き風



当院では、出張腎臓病教室の一環として、
年1回調理実習を開催しております。開催時に
好評だった減塩レシピを一部紹介いたします。

〈エネルギー 229kcal / 蛋白質 15g / 脂質 14g / 塩分 1.1g〉

【材料(1人分)】

- ・高野豆腐 1枚
- ・豚ロース薄切り 3枚
- ・小麦粉 2g
- ・だし汁 75cc
- ・濃口醤油 6cc
- ・砂糖 3g
- ・料理酒 5cc
- ・サラダ油 3g

(付け合せ)

- ・青梗菜 75g
- ・料理酒 3cc
- ・粗挽き黒胡椒 少々
- ・サラダ油 3g

【作り方】

- ① 高野豆腐は戻して、1枚を3等分する。青梗菜は斜めそぎ切り。
- ② 豚肉は細い方を手前にして広げ小麦粉を軽くまぶし、高野豆腐を1切れずつ巻く。
- ③ フライパンにごま油をひろげ、青梗菜の軸から先に入れ、葉をのせて調味料をふり、蓋をして蒸し焼きにする。
- ④ ②に小麦粉をまぶし、フライパンに肉の巻き終わりを下にして並べ、両面を焼く。調味料を加え、蓋をして5分程煮る。蓋をとってたれを煮からめる。

【減塩ポイント】

- ・お肉に粉をつけることで少量の調味料でも、味が良く絡みます。
- ・ごま油の風味をいかすことで、調味料は不要になります。



インフルエンザの季節がやってきます

今年もインフルエンザの流行する季節が近づきました。
流行シーズンに 備えて手洗い・うがいを心がけ、感染予防対策に努めましょう。
当院でも10月ごろよりインフルエンザワクチンの接種ができます。

(※ワクチンがなくなり次第終了します)



接種できる日や料金についてなど、
詳しくはお問合せください。

診療支援課 0943-23-4131





情報案内板を設置しました

情報案内板は、タッチパネルでかかりつけ医や医療機関情報を検索することができます。
総合受付待合ホール付近に設置していますので待ち時間の合間などにご活用ください。



診療支援課からのお知らせ

「かかりつけ医」の受診 ▶▶▶ 当院への紹介 までの流れ

① 体調不良を感じたら「かかりつけ医」にご相談ください。

入院治療や専門的な検査などが必要な場合

② 「かかりつけ医」の先生から当院へ紹介いただけます。

「紹介状」を持って当院へご来院ください。

③ その後、当院で入院治療や検査を受けていただきます。

④ 病状が安定したら、「かかりつけ医」または地域の医療機関へ紹介いたします。

体調不良を感じたら、まずは「かかりつけ医」を受診しましょう

あなたと家族の普通の診察、
健康管理を行います。



かかりつけ医

紹介状

さらに詳しい検査や
入院が必要なときは
紹介いただけます

連携

病状が安定したら
「かかりつけ医」へ
紹介いたします

紹介状

主に高度な検査、入院治療、
救急医療を行います。



公立八女総合病院



相談窓口のご案内

当院では患者さんやご家族の皆さまが安心して治療を受けられるように相談窓口を設置しております。患者さんに寄り添って各担当者(ソーシャルワーカー、看護師、医療安全管理者など)が問題解決のお手伝いをさせていただきます。お気軽にご利用ください。

ご利用の際は

1 番総合受付

へお申し出ください。

お電話での相談も可能です。その際は 0943-23-4131 (診療支援課) までご連絡ください。

～ご相談内容について～

○医療安全に関すること

○医療費・生活費に関すること

○治療と就労の両立に関すること

○診療に関すること

○療養場所・生活に関すること

○その他のご相談(苦情)など

相談料
無 料

がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けいたします。

当院へのご意見をお寄せください

当院では、院内の数箇所に「ご意見箱」を設置しています。

当院に来院をされて何かお気づきの点、お困りの点などがございましたら無記名でも構いませんのでご意見等をお聞かせください。

また、いただいたご意見は当院の中央入口付近およびホームページよりご覧になれます。

「ご意見箱」設置場所

1 階：受付 問診コーナー

2 階：救急待合室

3 階：デイルーム

4 階：デイルーム

5 階：デイルーム



ホームページはこちらから→



公立八女総合病院 外来診療 担当一覧

令和元年 10 月 1 日～

診療科	内 容		月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土曜日・備考(※表示)
ドック・健診	午前		田中 雅久	富士 和美	富士 和美	田中 雅久	田中 雅久	いずれか 1 人診察
	午後		田中 雅久	富士 和美	富士 和美	平城 由香子	担当医	
総合診療科	午前		田中 雅久	担当医	担当医	田中 雅久	田中 雅久	いずれか 1 人診察
	午後		田中 雅久	腎臓内科医師	担当医	平城 由香子	担当医	
消化器内科	午前・午後		小野 尚文 徳安 秀紀	小野 尚文 野田 悠	野田 悠 徳重 貴彦	徳安 秀紀 徳重 貴彦	小野 尚文 徳重 貴彦 鈴木 浩之(午前のみ)	いずれか2人 診察 ※受付時間：月・火・金…14時まで 水・木…12時30分まで
	肝疾患			小野 尚文	川口 俊弘(肝炎)	小野 尚文		※肝炎ウイルス検診は水曜14：00～16：00
血液・腫瘍内科	午前			田中 雅久		中村 剛之		休診
	午後			田中 雅久				
神経内科	午前・午後					平城 由香子		休診
膠原病内科	午前		竹尾 正彰／若杉 大輔		竹尾 正彰	竹尾 正彰	竹尾 正彰	1 人診察 (竹尾 正彰)
	午後		竹尾 正彰／若杉 大輔		竹尾 正彰	竹尾 正彰	竹尾 正彰	
内分泌代謝内科	午前		曽根崎 文 (大木 剛)	大木 剛 曽根崎 文	非常勤医師 曽根崎 文	曽根崎 文 渡邊 美希	大木 剛 (曽根崎 文)	いずれか 1 人 診察 (第5土曜は休診) ※紹介は月・金曜の受付 (その他曜日はお電話ください) ※午後・土曜の新患は紹介状持参のみの受付
	午後		曽根崎 文 (大木 剛)	大木 剛／曽根崎 文	曽根崎 文	曽根崎 文	大木 剛 (曽根崎 文)	
心臓・血管内科	午前		山元 美季 (齋藤 裕)	香月 太郎／森田 博彦	齋藤 裕／深水 亜子	齋藤 裕／加藤 宏司	古賀 祐樹 (齋藤 裕)	いずれか 1 ～ 2 人 診察 ※ペースメーカー外来：月曜日14：00～ (受付13：30～)
	午後		山元 美季	香月 太郎	深水 亜子	齋藤 裕	古賀 祐樹	
腎臓内科	午前		大原 敦子／神戸 賢利	植田 詩子／平田 英生	平田 英生／山下 裕也	大原 敦子／植田 詩子	山下 裕也／神戸 賢利	いずれか 1 人診察
	午後		担当医	植田 詩子	平田 英生	植田 詩子	山下 裕也	
呼吸器科	午前	新患	上村 知子	上村 知子	今村 陽平	富永 芳和	井上 譲	いずれか 1 人 診察 ※午後・土曜の新患は紹介状持参のみの受付
		再診	富永 芳和	井上 譲		上村 知子	今村 陽平	
	午後		上村 知子	井上 譲	井上 譲	富永 芳和	松尾 規和	
外 科	午前	一般	藤野 真也／青柳 武史	高森 信三	石橋 生哉	平城 守／小野 博典	岡 洋右	いずれか 1 人 診察
		肝胆脾				平城 守		
		肺	松本 亮一	小野 博典		小野 博典	村上 大悟	
		再診	平城 守	小野 博典	岡 洋右 谷口 寛子 藤野 真也	小野 博典	石橋 生哉 平城 守	
	午後		藤野 真也 松本 亮一 青柳 武史		石橋 生哉		岡 洋右	※火曜・木曜の外来受付11：00まで
	血管 (午前)					澤田 健太郎		
	乳腺 (午後)				藤井 輝彦		藤井 輝彦	※午後の乳腺外科受付時間：14：00～15：00 ※水曜は第1・3週のみ
脳神経外科	午前		宮原 孝寛	宮原 孝寛	宮原 孝寛		宮原 孝寛	1人診察 (宮原 孝寛) ※木曜午後は予約のみ ※午後は紹介状持参のみ (事前にお電話ください)
	午後		宮原 孝寛	宮原 孝寛	宮原 孝寛	森岡 基浩	宮原 孝寛	
整形外科	午前	新患	塚本 祐也	田中 憲治	中川 愛梨		田中 憲治	いずれか 1 人診察
		再診	田中 憲治	中川 愛梨	田中 憲治		塚本 祐也	
産婦人科	午前		宮川 三代子 伊地知 盛夫	宮川 三代子 伊地知 盛夫	宮川 三代子 伊地知 盛夫	伊地知 盛夫 荒木 研士郎	宮川 三代子 荒木 研士郎	いずれか1人診察 (第5土曜は休診) ※月曜午後・土曜に来院の際は事前にお電話ください ※子宮がん検診 (月～金曜日)
	午後		宮川 三代子／伊地知 盛夫					
皮 膚 科	午前		河野 秀郎／山田 真梨枝	河野 秀郎	河野 秀郎／山田 真梨枝	山田 真梨枝	河野 秀郎／山田 真梨枝	いずれか 1 人診察
泌尿器科	午前		井手 篤史	井手 篤史	井手 篤史	井手 篤史／星野 龍志	井手 篤史	※1・3・5土曜日のみ (井手 篤史)
	午後		井手 篤史				井手 篤史	※月曜午後・金曜午後に来院の際は事前にお電話ください
耳鼻咽喉科	午前		大淵 彰之	大淵 彰之		大淵 彰之		※1・3・5土曜日のみ(大淵 彰之)※新患は紹介状持参のみの受付
眼 科	午前		坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	1 人診察 (坂井 貴三彦) ※第5土曜は休診 ※火・水曜日の当日受付は、10：00まで ※黄斑外来は第1・3・5水曜日のみ ※木曜午後は第2・4・5週のみ
		黄斑			久大医師			
	午後		坂井 貴三彦			坂井 貴三彦		
小 児 科	午前		石本 和久／中村 美和子	久大医師	石本 和久／中村 美和子	石本 和久	石本 和久／中村 美和子	いずれか1人診察
		心臓		高瀬 隆太				
		内分泌				西岡 淳子		
	午後		石本 和久		石本 和久	石本 和久	石本 和久	※予防接種：水曜午後 (事前に電話予約)
精 神 科	予約制 (午前)		増本 政也			柳本 寛子		休診
	予約制 (午後)		上松 謙					
	臨床心理士		末継 奏子	末継 奏子	末継 奏子	末継 奏子	末継 奏子	
放射線診断科	午後		菰原 保幸	菰原 保幸	菰原 保幸／新城 安基	菰原 保幸／新城 安基	新城 安基	休診
放射線治療科	予約制 (午前・午後)				水上 直久			休診
緩和ケア科	予約制 (午後)			原口 勝		原口 勝		休診 ※診療時間:15：00～
歯科口腔外科	午前		松村 香織	松村 香織	松村 香織	松村 香織	松村 香織	休診 ※午後は紹介状持参のみ (事前にお電話ください)
	午後		松村 香織	松村 香織	松村 香織		松村 香織	

外来診療受付時間 平日：8時00分～16時00分(土曜：8時00分～11時00分) | TEL:0943-23-4131 | FAX: (代表)0943-22-3185 (医療連携室)0943-22-6929

私たちの理念

心のかよった医療を提供し、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

私たちの目指す医療

1. 保健・医療・介護・福祉との連携を強化し、地域包括ケアシステムの構築を目指します。
2. 救急医療の充実を図り、信頼される病院を目指します。
3. 臨床研修体制の充実に取り組み、医療の発展に貢献します。

◆ 患者さんの権利と責務 ◆

公立八女総合病院では患者さんの権利を尊重し、信頼にもとづく良い医療を行うために、患者さんの権利と責務に関する宣言を掲げます。

患者さんの権利

良質の医療を受ける権利

適切で良質な医療を公平に継続して受ける権利があります。

選択の自由の権利

病院や医師を自由に選択し又は変更する権利と他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

情報を知る権利

治療や症状について真実を知り、納得ができるまで十分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

十分な説明を受け、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

機密保持を得る権利

治療で医師や従事者が知り得たすべてのプライバシーの機密保持を得る権利があります。

尊厳を得る権利

尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

患者さんの責務

情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対し、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

医療に協力する責務

提供される医療に協力し、他の患者さまの治療に支障を与えないよう配慮する責務があります。

医療費を支払う責務

医療費の支払い請求を受けたときは、速やかに支払う責務があります。

子ども患者さんの権利

生きる権利

いつでもひとりの人間として大切にされ、最良の医療を受ける権利があります。

育つ権利

入院していても遊んだり、教育を受ける権利があります。

守られる権利

あらゆる暴力や虐待、無視、放置、搾取などを受けない権利があり、それらから守られる権利があります。

参加する権利

自分の考えや気持ちを病院の人や家族に伝え、治療方法の選択に参加する権利があります。